

令和4年2月実施

事業所名 児童デイサービスわんぼ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			・勉強スペースと遊ぶスペースの仕切りなどハッキリしない部分があるため衝立などを活用し区別させる
	②	職員の配置数は適切であるか	5				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	2	2	・玄関前の階段が高いなどバリアフリー化されていないが周辺視をしながら常に児童に目を配り事故	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1			・ジョイントマットやカラーボックスなど経年変化により古くなり汚れが目立つものは計画的に更新を行う。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1			・保護者向けのアンケートを実施し意向等を把握したので今後の業務改善につなげていく。また連絡帳やラインなどにより意見交換を行う
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5		・第三者による外部評価は行っていないため今後検討し業務改善につなげる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内	5				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				・担当者会議や普段から複数の職員で話し合いを行う	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				・季節に合わせた行事を行っている。また、ダンス、お料理、折り紙の教室など8つの教室化を図り固定化しないよう工夫している	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5					
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5					
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5					
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				・毎日の記録をもとに支援の検証、改善につなげている	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5					
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5				・保健センターや幼稚園、他のデイサービスと情報交換を行っている	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5					
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5					
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	2			・コロナの影響で研修機会が激減しているがZoom等の研修など得て必要に応じ助言を受けていく。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				5		・コロナの影響を見つつ幼稚園などから見学の受け入れを計画していく。

	⑳	(目立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加している か			5		・コロナの影響で会議の参加は 難しい場面が多いがZoom研修に より事業所の現状など一部情報 共有を図れた。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共通 理解を持っているか	5			・連絡ノートや送迎 時、個別ラインなど により機をとらえて 情報交換をしている	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)の支援を 行っているか	1	4		・コロナの影響に より実施できてい ない	・コロナの影響を見つづ可 能な限り実施出来るよう計 画していく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか	5			・丁寧な説明を心 がけている。	
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達 支援計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から児童発達支援計画の同意 を得ているか	5				
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っているか	5				
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか			5		・コロナの影響もあり実施 できていないZoomなど利用 を含め実施に向けて検討す る。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、相談や申入れがあ った場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	5			・インスタグラム や個別ラインを利用 し写真や動画を 発信している。	
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				
	㉚	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか	5				・コロナの影響で実施できないこと が多かったが町内会活動や南平岸商 店街の協力を得て地域との交流を一 部行えた。
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員や 保護者に周知するとともに、発生を想定し た訓練を実施しているか	5			
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	5				
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認しているか	5			・利用開始時に保護 者から聞き取りをも とに対応している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5			・利用開始時に保護者から聞き取りをもとに対応している。	・個別に必要があれば医師からの指示書をもとに対応していく。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・虐待防止委員会の組織作りを行い部外の研修に参加した。(Zoom研修)
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5				・現状では該当する児童はいないが組織化を図った。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。